

「住まい・まちづくり活動アドバイザーデータベース」に登録頂くにあたり、以下の記入要領を参考に登録書式にご記入下さい。**赤枠内は必須項目ですので、必ずご記入下さい。**

登録書式への入力にあたっては、英数字は半角、カタカナは全角としてください。

基本属性

氏名、生年月日、性別、出身地について

- ・「フリガナ」、「氏名」、「生年」、「月日」を記入頂き、「性別」、「出身地」について該当する項目を選択して下さい。

主な連絡先について

- ・該当する「区分」を選択頂き、連絡先が「2.勤務先」の場合は「名称・所属」欄に勤務先の名称・所属を記入し、「3.その他」の場合は「具体的に」欄に連絡先の名称等を記入して下さい。
- ・「所在地」は、上記連絡先の区分のある所在地(住所)の郵便番号7桁を入力、都道府県を選択し、以下住所を記入して下さい。
- ・主たる連絡先区分の「電話番号」、「メールアドレス」を記入して下さい。

これまでの住まい・まちづくりに関する経歴等(その1)

最終学歴、資格について

- ・「最終学歴」を記入頂き、その卒業・修了年次を()内に記入下さい。
- ・「資格」について、有無を選択頂き、「あり」の場合は現在保有している資格を選択肢の中から全て選び、それぞれ()内に取得年次を記入下さい。
「なし」を選択した場合は、資格内容を入力できません
選択肢の中に該当するものがない場合には、「上記以外の資格」に資格の正式名称を記入頂き、()内に取得年次を記入下さい。

所属団体、著作物等について

- ・現在所属している団体の有無を選択頂き、所属団体がある場合にはその団体名を正式名称で記入して下さい。
「なし」を選択した場合は、資格内容を入力できません

所属団体の記入例

例) 社団法人東京建築士会、社団法人日本建築家協会、社団法人日本建築学会、
社団法人再開発コーディネーター協会

- ・「著作物等」については、最近の著作物、あるいは論文等を記入して下さい。

実務経験年数について

- ・「実務経験年数」に、住まい・まちづくりや関する実務経験の年数を記入して下さい。その中に行政での経験が含まれている場合は、その年数を記入して下さい。なお、実務経験には通常の建築設計業務等は含みません。
- ・「職歴」に、最新のものから最大4つまで、期間および職歴(名称・所属)を記入して下さい。

これまでの住まい・まちづくりに関する経歴等(その2)

実績のある業務について [「実績のある業務」の選択項目の解説はこちら](#)

- ・「実績のある業務の種別」の選択肢から該当するものを選び、その種別の大まかな「実績件数」を記入頂き、「具体事例」を1つ記入して下さい。
- ・実績のある業務は、必ず1つ以上記入して下さい。また最大10まで選択、記入できます。
- ・なお、通常の建築設計業務等は、住まい・まちづくり活動に含みません。

具体事例の記入例

市 地区(歴史的な建物を生かした商店街の再生)

旧街道沿いに位置し歴史的な建物が多く残る商店街での町並み保存・活用の計画策定を行うとともに商店街内の古い民家を活用した美術館の計画設計を行った。これにより町並み全体が調和し核となる施設(美術館)を持つ魅力的な商店街が形成された。

委員歴、アドバイス等に関する実績

委員歴について

- ・これまでに就任した委員等のうち、主要なものについて「委員歴」に最大4つまで記入して下さい。

委員歴の記入例

市都市計画審議会委員

地区整備基本計画策定委員会委員長

「×××地区のまちづくりを考える若手の会」指導員

アドバイスについて

- ・既往の派遣制度等によるアドバイスの実績について、「活動先」を選択頂き、「携わった立場と果たした役割」、「派遣期間」、「派遣制度名等」を記入して下さい。
- ・アドバイス等に関する実績は最大3つまで記入して下さい。

派遣制度名等の記入例

国土交通省 地域振興アドバイザー派遣制度

市 まちづくり条例に基づくまちづくり相談員の派遣

財団法人××県まちづくりセンター まちづくりコーディネーター派遣事業

活動可能地域、自己PR

活動可能地域について

- ・実際に現地で活動することが可能な地域を「活動可能地域」の中から選択して下さい。
- ・全国や、都道府県単位に限定される場合は、その他にお書きください。

自己PRについて

- ・以上の登録内容を補足する事項や、その他自己PR等について、400字以内でご自由に記入して下さい。